

所蔵目録出版・バーコード化・広報企画事業（ニュースレター・概要・年報）（③情05-07-2/5）

目 的

『年報』『概要』『ニュース』など広報三誌の編集・刊行は、研究所が進める広報活動の中核に位置づけられる。それらの目的は、媒体に応じて、調査・研究、国際協力の推進、調査研究成果の発信、協力・助言など、研究所が担うさまざまな活動を、対外向けに情報発信することにある。またそれらのデータはホームページ上でもPDFファイル形式で配信されている。

成 果

1. 『年報』2006年度版の刊行

2006年度が第2期中期計画第1年に当たることにあわせ、『年報』の装丁を改めた。その構成は従来通り、機構、年度計画及びプロジェクト報告、その他の研究活動、個人の研究業績、研究交流、主な所蔵資料、研究所関係資料、東京文化財研究所プロジェクト索引とした。編集に際しては、年報編集委員会の協議を通じ、編集方針を検討した。2007年度版は2008年5月31日に刊行された。

2. 『概要』2007年度版の刊行

2007年度の組織改編に伴い、『概要』の構成を、組織、職員一覧、各部・センターの紹介、研修・助言・指導、大学院教育・公開講座、情報発信、刊行物、資料に改めた。またその文章は従来通り、日英2カ国語併記とし、図版を多用した。編集に際しては、概要編集委員会の協議を通じ、編集方針を検討した。第1四半期に刊行された。

3. 『東文研ニュース』の刊行

研究所の研究活動のうち速報性と公共性の高い記事、文化財の研究手法や研究所の歴史などを一般向けに解説したコラム、そして刊行物の案内などを四半期ごとに掲載した。編集に際しては、東文研ニュース編集委員会の協議を通じ、編集方針を検討した。

平成19年度の実績は下記の通りである。

No.29 全16頁 2007年5月31日発行

No.30 全16頁 2007年8月31日発行

No.31 全16頁 2007年11月30日発行

No.32 全20頁 2008年2月28日発行

また毎月、『活動報告』（Monthly Report）をそれぞれ日本語版・英語版のホームページ上に掲載するようにし、記事の速報性の確保につとめた。さらに『東文研ニュースダイジェスト』（『ニュース』英語版）を刊行し、海外の読者向けに情報発信を進めた。

4. 『所蔵目録』の刊行

蔵書目録データ17,412件の入力・校正を行い、『東京文化財研究所蔵書目録7 外国雑誌編』を刊行した。収録内容は、欧文439種、中文130種、韓文41種である。

研究組織

○勝木言一郎、中野照男、山梨絵美子、塩谷純、田中淳、津田徹英、綿田稔、皿井舞、江村知子、城野誠治、中村節子、中村明子、井上さやか、鳥光美佳子（以上、企画情報部）